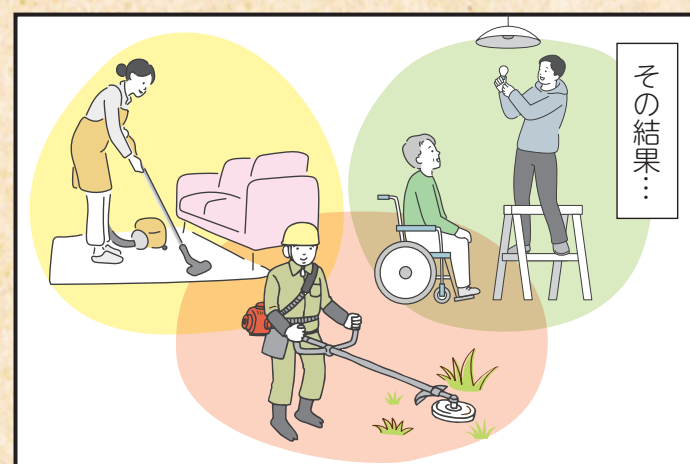


地域の困りごとを地域で解決!



協同労働ってなに?

「やりたいこと」の想いを共にする仲間が集まり、みんなが自らできる範囲でお金を出し合い(出資)、みんなが対等な立場でアイデアを出し合っ(意見反映)、人と地域に役立つ仕事に取り組む働き方(労働)の仕組みが協同労働です。



1 みんなで出資: みんなが自らできる範囲でお金を出し合い、事業の準備をしたり、保険に入ったりします。

2 話し合いながら自分たちで経営: みんなが対等な立場でアイデアを出し合い、意見を反映します。

3 必要なサービスを自分たちで提供: 地域の困りごとをみんなで仕事として取り組み、その対価として収入を得ます。

4 働きに応じて収入を分配: 参加者みんなが働き、働きに応じてお金が分配されます。

協同労働のポイント

具体的には... 持続可能で活力ある地域社会の実現に資する事業(労働者派遣事業以外)を、

- ▶ 3人以上の同じ思いを持つ仲間から始めます!
 - ▶ メンバー全員が出資します!
 - ▶ 「一人一票の原則」でものごとを決めます!
 - ▶ 誰か一人が全てを決めるのではなく、対等な立場で話し合い事業を運営します!
 - ▶ メンバー全員が労働します!
- ...etc



地域や人とつながる! 「仕事づくり」を「地域づくり」へ!

「協同労働」は自分たちが取り組んでいる事業を通じて(仕事づくり)、地域に協同の輪(和)を広げ、地域の課題解決に貢献する(地域づくり)働き方です。

協同労働とボランティアの違い

協同労働



同じ想いを持つ人が集まり、出資し、意見を出し合っ(助け合いながら、有償で地域の課題を解決している)こうとする働き方です。

ボランティア



ボランティアの4つの原則(自主性・無償性・社会性・先駆性)に基づき、他人や社会に貢献する活動です。

協同労働についての

Q&A

Q ボランティアと何が違うの?

A 自発的であり、社会貢献につながるという性質は似ていますが、「協同労働」はボランティアと違い、無償性はなく、自ら出資し、地域課題などに対してメンバーの「やりたいこと」を話し合いで決めて働き、その対価として収入を得る働き方が特徴です。

Q なぜ、働くのに出資(お金を出す)する必要があるの?

A 事業に必要なお金を出し合うイメージしましょう。代表や一部のメンバーだけでなく、全員がお金を出し合い、全員で意見を反映し、事業運営に携わり、収益が生まれる事業に成長するような活動を目指します。出資金額は団体によってさまざまで、一口〇〇〇円と全員で決めます。一口1,000円から10,000円のところが多いようです。

Q 人と地域に役立つってどういうこと?

A 「協同労働」は、働く一人ひとりが地域に役立つ仕事に取り組み、働くことを通じて人とのつながりを育みながら地域の元気を支える「地域で仕事をつくる仕組み」です。また「ボランティア」は、4つの原則に基づき市民が主体となって社会のために活動し、地域の助け合いを広げていく「社会貢献の仕組み」です。目的や役割は異なりますが、どちらも地域を良くし関わる人たちの生きがいにつながる大切な取り組みで、地域を元気にする「ふたつの車輪」とも言えます。